

科目名	病害虫防除概論			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	15 時間	
担当者名	教務課、学生支援課、企画戦略部、農業技術研究室、環境技術研究室			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)病害虫等の発生要因と防除対策に関する学修 (2)環境に配慮した総合的病害虫管理に関する学修 (3)農薬の適正使用に関する学修					
身に付ける力	(1)病害虫等の防除対策に関する基礎知識 (2)農薬の適正な使用方法					
到達目標	(1)病害虫等による被害を最小限に抑えるための防除対策を講じることができる (2)農薬を適正に使用することができる					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	病害虫防除の基礎、総合的病害虫管理技術		3	中川浩二	
	2	農薬の基礎知識と適正使用		1	吉松英之、中川浩二	
	3	病害虫発生予察		1	吉松英之、中川浩二	
	4	雑草の生態と防除法(最新知見、見学含む)		2	池尻明彦、福田浩久	
	5	主要病害虫の発生状況と防除法の実際(作物別)		3	上田淑乃、貞光優樹 山内健、佐々木万紀	
	6	病害虫に係る研究成果、研究施設見学		2	河野弘和、岩本哲 弥、中川浩二	
	7	農薬工場見学(バイエルクロップサイエンス防府工場)		2	福田浩久、大久保孝志	
	8	定期考査		1	教務課	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材	病気・害虫の出方と農薬選び 農文協					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	45	実技テスト		
	レポート	知・技、思・判・表	35	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	植物生理			開講時期	1年生 前期	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	15 時間	
担当者名	小林和真			単位数	1 単位	
科目の概要	植物の特性、環境要因、栄養等の生理的機能に係る基礎知識および生理生態を活用した栽培管理技術に関する学修					
身に付ける力	実際の栽培管理に活用するための植物生理の基礎知識					
到達目標	植物の生理的機能や栽培管理技術がどのように植物に影響するか理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	植物の構造、水と溶質の輸送		2	小林和真	
	2	被子植物の生殖、種子の休眠と発芽		2	小林和真	
	3	環境要因と植物の反応		2	小林和真	
	4	植物ホルモン		2	小林和真	
	5	呼吸と光合成のしくみ、光合成のタイプと環境要因		2	小林和真	
	6	栽培管理技術への応用		4	小林和真	
	7	定期考査		1	小林和真	
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材	講義時に配布する資料					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	70	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	スマート農業機械論			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	先端技術への対応力			時間数	15 時間	
担当者名	河本一慶、外部講師			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)ロボット、AI、IoT等の先端技術に関する学修 (2)技術の導入による経営への効果に関する学修 (3)スマート農業における環境整備に関する学修					
身に付ける力	スマート農業に関する基礎知識					
到達目標	(1)ロボット、AI、IoT等の先端技術の基礎的な知識を習得する。 (2)技術の導入による経営の基礎的な知識を習得する。 (3)スマート農業における環境整備の基礎を習得する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	スマート農業とは		1	河本一慶	
	2	スマート農機の種類と活用方法について		1	河本一慶	
	3	スマート農業の実証事例について		1	河本一慶	
	4	スマート農機の操作、実際の使い方について		5	河本一慶、外部講師	
	5	データ活用技術(営農支援システム等)について		3	河本一慶、外部講師	
	6	最新のスマート農機について		2	河本一慶、外部講師	
	7	スマート農業の環境整備、通信方法について		1	河本一慶	
	8	定期考査		1	河本一慶	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	80	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、 態度	10	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名	河本一慶、上田淑乃			単位数	4 単位	
科目の概要	(1) 水稻の生理生態と栽培管理に関する学修 (2) 大豆、麦の生理生態と栽培管理に関する学修 (3) 露地野菜の生理生態と栽培管理に関する学修					
身に付ける力	土地利用型作物の生理生態や栽培管理に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1) 水稻の生理生態と栽培管理の基礎的知識・技術を習得する。 (2) 大豆、麦の生理生態と栽培管理の基礎的知識・技術を習得する (3) 露地野菜の生理生態と栽培管理の基礎的知識・技術を習得する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	水稻の生理生態と栽培管理		15	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	2	大豆の生理生態と栽培管理		8	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	3	麦の生理生態と栽培管理		8	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	4	露地野菜の生理生態と栽培管理		6	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	5	土地利用型作物に共通した栽培管理手技		2	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	6	作物生産で使用する農業機械の基礎知識・技術		10	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	7	土地利用型作物の病害虫・雑草・気象災害		4	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	8	施肥設計・防除計画の考え方		2	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	9	施肥・農薬に関する計算		4	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	10	定期考査		1	河本一慶、上田淑乃、兼光直樹	
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	60	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	トヨタ生産方式			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	20 時間	
担当者名	福田浩久、河本一慶、上田淑乃、外部講師			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)トヨタ生産方式の概要の学修 (2)トヨタ生産方式を活用した現場改善実習					
身に付ける力	現場の課題を発見し、原因と対策を考え、解決に向けて実践していく力					
到達目標	(1)トヨタ生産方式の概要を理解する。 (2)トヨタ生産方式を活用した現場改善を実践できる。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	トヨタ生産方式の概要、作業安全		5	福田浩久、河本一慶、上田淑乃、外部講師	
	2	カイゼンの考え方と進め方、標準作業		5	福田浩久、河本一慶、上田淑乃、外部講師	
	3	before & afterカイゼン		5	福田浩久、河本一慶、上田淑乃、外部講師	
	4	問題解決8STEP		5	福田浩久、河本一慶、上田淑乃、外部講師	
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	70
	授業・実習態度	思・判・表、態度	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	200	時間	
担当者名	河本一慶、上田淑乃			単位数	10	単位	
科目の概要	水稲、麦、大豆、露地野菜の生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、乾燥調製の学修						
身に付ける力	水稲、麦、大豆、露地野菜の栽培管理や出荷調製に関する基礎知識・技術						
到達目標	水稲、麦、大豆、露地野菜の生産に必要な基礎知識・技術の習得						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	栽培計画の作成			2	河本 一慶、上田 淑乃	
	2	土壌分析と施肥設計			2	河本 一慶、上田 淑乃	
	3	ほ場準備(土づくり、入排水路の整備、ほ場排水対策)			30	河本 一慶、上田 淑乃	
	4	作物の栽培管理と乾燥調整、保管			56	河本 一慶、上田 淑乃	
	5	栽培実績の作成			10	河本 一慶、上田 淑乃	
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査			実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	先進法人演習			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力			時間数	20	時間
担当者名	福田浩久、河本一慶、上田淑乃			単位数	1	単位
科目の概要	大規模経営を行う農業法人のフィールドで、大型・高性能農業機械を使った実習等を行う。					
身に付ける力	農業法人の作物生産の現状に関する知識					
到達目標	農業法人の機械体系や作業の実態を体験・理解する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	農業法人での作業実習(草刈り)		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	2	農業法人での作業実習(タマネギ播種)		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	3	農業法人での作業実習(大豆収穫)		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	4	農業法人での作業実習(タマネギ移植)		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	5	農業法人での作業実習(キャベツ収穫・調製)		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技、思・判・表	30	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	70	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	実習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	630 時間	
担当者名	河本一慶、上田淑乃、福田浩久			単位数	21 単位	
科目の概要	作物の生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習					
身に付ける力	(1)作物の栽培管理や乾燥調整に関する基礎知識・技術 (2)生産における課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)作物栽培の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	2	生産プロジェクトの栽培計画作成		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	3	生産プロジェクトの実施		718	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	4	中間検討		4	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	5	生産プロジェクト報告書作成		20	福田浩久、河本一慶、上田淑乃	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業体験研修			開講時期	1年生5月～6月			
				授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性			時間数	40 時間			
担当者名	教務課、土地利用G担当			単位数	2 単位			
科目の概要	先進農家・農業法人での農業体験研修							
身に付ける力	農大での学修及び就農意欲の向上							
到達目標	生産現場や農家生活、農業法人の実態の体験・理解							
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師		
	1	農業体験研修(5日間)			40	(研修先)農家等		
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法		観点	割合
	定期考査				実技テスト			
	レポート		思・判・理	50	発表・成果物		知・技	50
	授業・実習態度				研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度